

株式会社システム創造研究所 環境行動計画

取組方針

株式会社システム創造研究所は、当社の経営理念である『世の中に必要とされる会社、社員に必要とされる会社を目指し、「共に生きる」（こころ豊かな人を育てる組織づくりにみんなで努めていきます）』をモットーに、顧客ニーズにあった情報サービス業（システムコンサルティング、システムインテグレーション、ソフトウェア開発）をしています。

当社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギーと省資源（紙使用量の節減・節水）
- ② 開発部門、事務部門における廃棄物の削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成26年7月29日

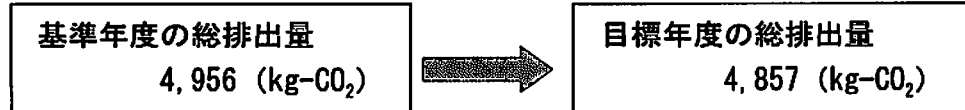
株式会社システム創造研究所

代表取締役 菅原 栄

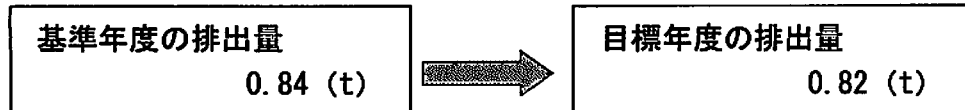
3. 環境負荷の低減目標

26年度に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも25年度です。)

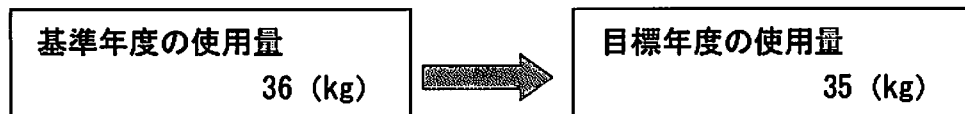
【目標1】 二酸化炭素の総排出量を2%削減する。



【目標2】 一般廃棄物の排出量を2%削減する。



【目標3】 コピー用紙使用量を2%削減する。



【目標4】 水使用量を2%削減する。



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組1】 二酸化炭素総排出量の削減

(事務所での取組)

- ① 昼休みの消灯、人のいない場所の消灯を徹底する。
- ② 夏場はクールビズを導入し、空調機の冷房設定温度を現状より2℃高くする。
また、冬場はウォームビズを導入し、空調機の暖房設定温度を現状より2℃低くする。
- ③ 温度計を設置し、空調機の設定温度を管理する。
- ④ 使用していない電気器具の主電源を切り、待機電力を削減する。
- ⑤ 休日前には、パソコンのコンセントを抜いておく。

(車両での取組)

- ① アイドリングストップを徹底する。
- ② 車両の点検を定期的に行う。
- ③ 車で移動する際は、乗り合わせを徹底する。
- ④ エコドライブに取り組む。(アイドリングストップ、ふんわりアクセル)
- ⑤ エコカー(低燃費・低公害車)の購入を推進する。

- ⑥ 給油時タイヤの空気圧をチェックし燃費の向上に努める。

【取組2】廃棄物排出量の削減

- ① 廃棄物は決められたごみ箱に分別して出す。
- ② シュレッダーの使用は機密書類に限定する。
- ③ ファイル、フォルダーなどは繰り返し使用する。
- ④ 新しい製品カタログを受け取る際には、旧版を引き取ってもらう。
- ⑤ 再使用しやすい製品、リサイクル製品を優先的に購入する。
- ⑥ 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する。
- ⑦ 製品をできるだけ長期間使用する。

【取組3】コピー用紙使用量の削減

- ① 作成資料を印刷する際は、パソコン画面上での確認を励行する。
- ② 電子メディアの利用によって、ペーパーレス化を推進する。
- ③ 社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏面活用に努める。
- ④ 顧客情報等を含まない不要な文書、毀損したコピー用紙の裏面を再利用する。
- ⑤ コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定状況を確認しミスコピーの削減に努める。
- ⑥ 会議資料等の削減に努める。(資料のコンパクト化、必要最低部数のコピー)
- ⑦ コピーをする場合は、その必要性を十分考える。

【取組4】水の使用量の削減

- ① 水道管からの漏水を定期的に点検する。
- ② 効率的な水の利用に取り組む。
- ③ 節水に努める。
- ④ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する。
- ⑤ 水道蛇口に節水こまを取り付ける。

5. 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画に基づき環境保全活動を効果的に実施するため、環境管理責任者を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。